

のり海況速報 第5報 (27-5)

平成27年11月19日発行
 千葉県水産総合研究センター
 東京湾漁業研究所
 千葉県農林水産技術会議

資料 のり海況調査 11/16：内湾(ふさなみ)、11/17：内房北部(ふさみ丸)
 関東・東海海況速報(11/12-19)、東京湾口海況図(11/12-19)
 自動観測ブイデータ(11/12-19)、拓南観測データ(11/17)
 モニタリングポスト(11/16：国交省関東地方整備局)

【水温・塩分の状況】

- ・内湾の表層水温は前回(11/4)からほぼ横ばい状態で、おおむね18~19℃台です。塩分は羽田沖でやや低くなっているものの、おおむね30~32台で、平年よりやや高めになっています。(図1)。
- ・内房北部の表層水温はやや下がり、18℃台後半になっています。塩分は33台前半でした。
- ・内湾の調査ラインの水温・塩分の鉛直分布では、水温は表層と底層の温度差が前回よりさらに小さくなり、塩分は中央部の底層付近まで33.5以上の水塊がみられています(図2)。
- ・東京湾口への沖合水の流入はいつものところ少ないもようです。

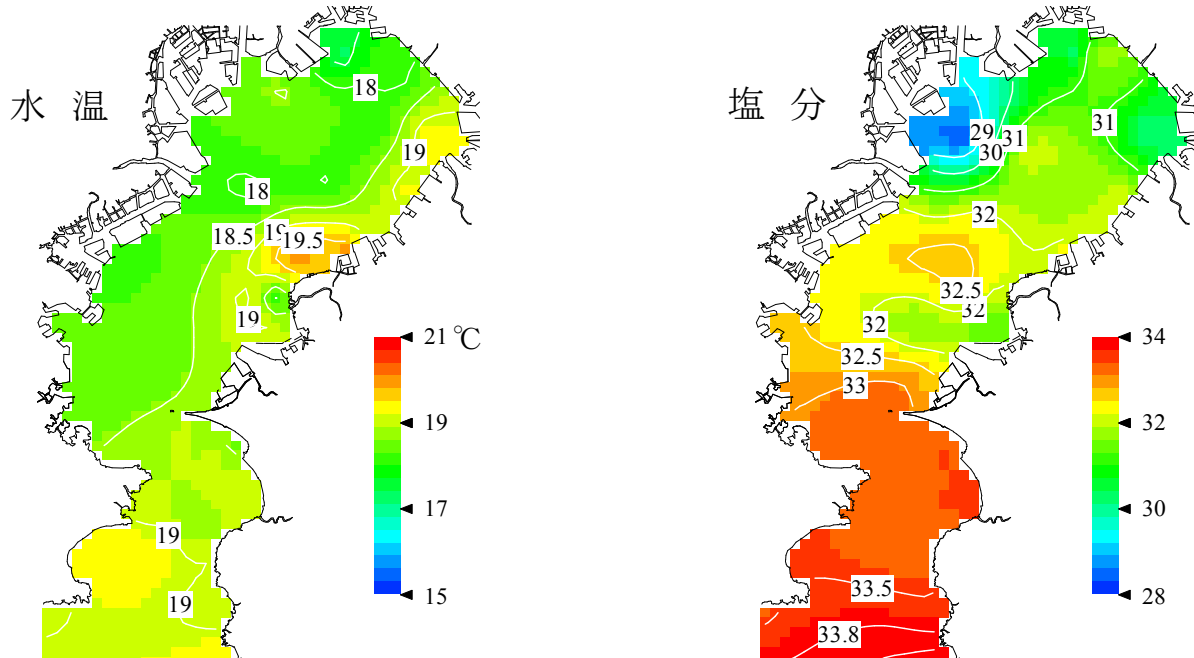


図1 表層の水温・塩分の分布(平成27年11月16-17日)

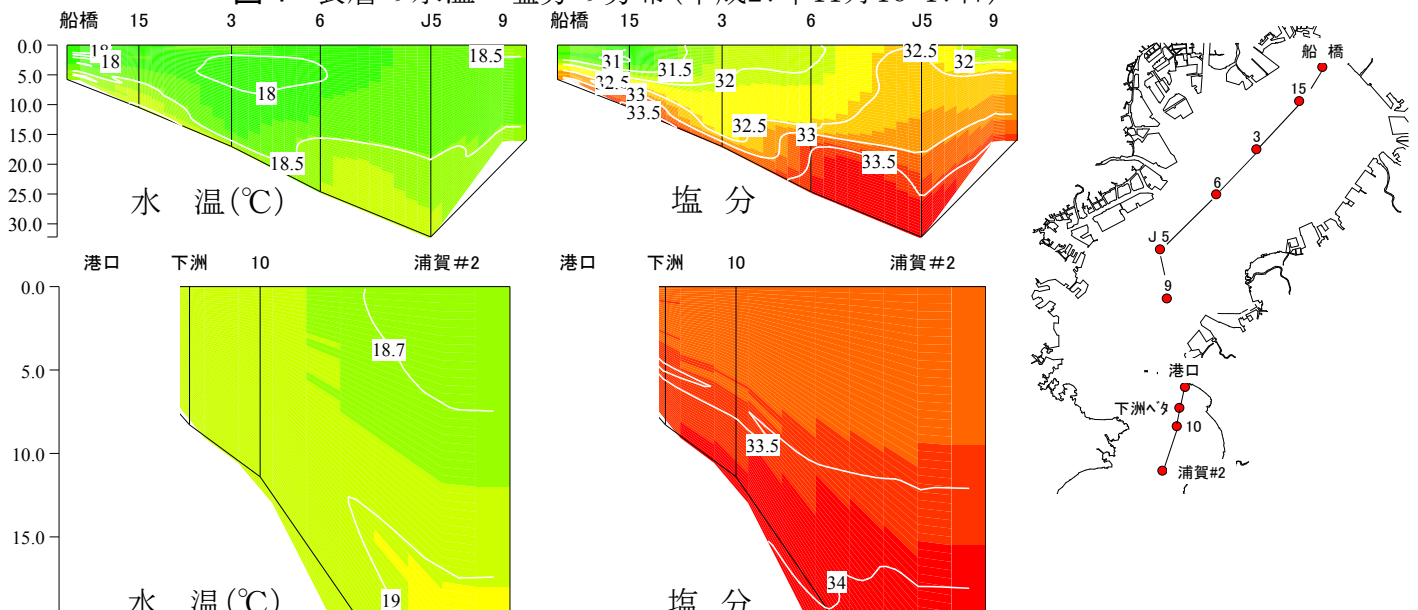


図2 調査ラインの水温・塩分の鉛直分布(平成27年11月16-17日)
 (上：内湾、下：内房北部、右：調査ライン)

【赤潮・栄養塩の状況】

- ・赤潮は全域で発生していませんでした。
- ・プランクトンは非常に少なく、渦鞭毛藻のアカシオ サンガイネア、ケイ藻のスケルトネマがみられる程度でした。透明度は最も低いところで5m前後あり、水色はおおむね黄緑色でした。
- ・表層の栄養塩(図3)は窒素(D I N)・リン(D I P)とも十分あり、のり養殖にとって問題ない濃度です。

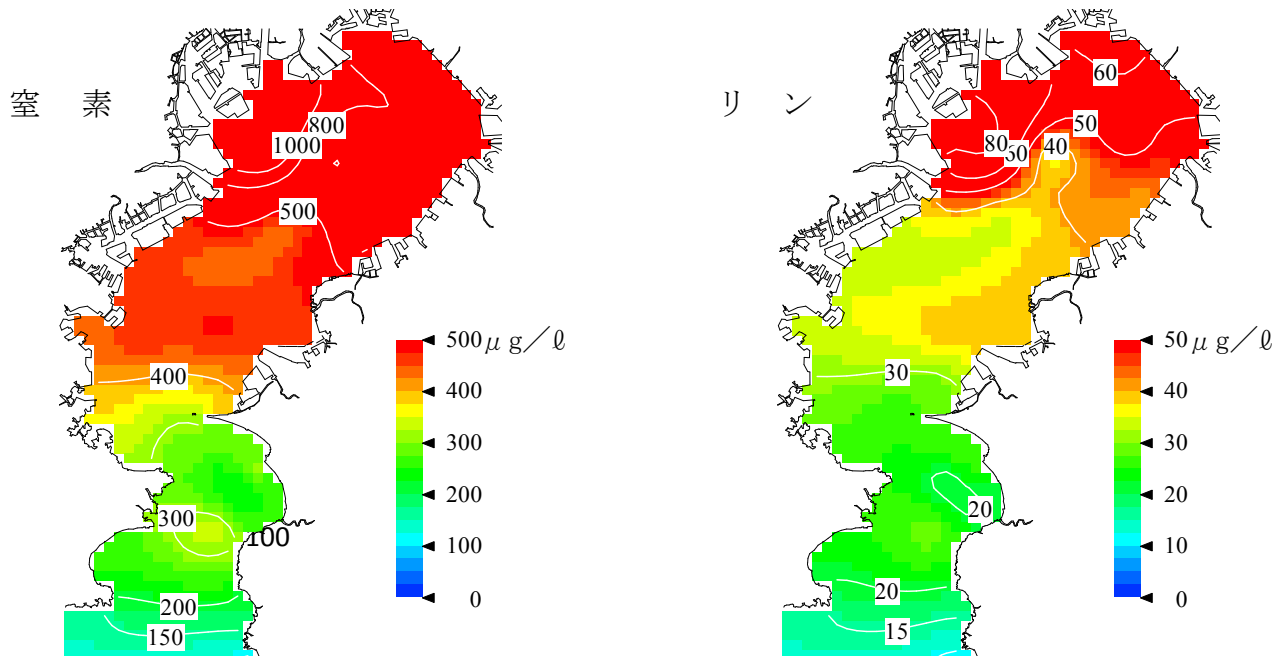


図3 表層の栄養塩濃度の分布(平成27年11月16-17日)

り養殖場水温予報のお知らせ

今年も、各り養殖場(三番瀬, 盤洲北部, 盤洲南部, 富津岬北, 富津岬南)について、5日先まで表層水温を予報します。パソコンまたは携帯の検索サイトで”り養殖場水温予報”で検索するか、下記アドレスを直接入力してご覧ください。

パソコン：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/main_frame.html

携帯：http://www.pref.chiba.lg.jp/pbcbisuishi/cbtk/04tk-yohou/mobile_forecast.html